

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「リッチモンド公立小学校通学バス整備計画」
引渡式**

教育は未来を救います。

2025年4月29日、セント・メアリー県のリッチモンド公立小学校において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「リッチモンド公立小学校通学バス整備計画」の引渡式が開催され、同校に通学バス1台が供与されました。

渥美大使は、挨拶の中で、我が国の政府開発援助（ODA）は長年にわたり両国の関係において重要な役割を果たしジャマイカの福祉を大幅に改善し J-J パートナーシップと呼ばれる日本・ジャマイカの友好関係を強化してきたこと、日本のビジョンは総合的な開発パートナーとして Learning For All, All For Learning を通じて質の高い教育を実現し国家成長の基盤となる持続可能な開発を促進すること、日本もジャマイカと同様の考え方を共有しており子供を含む全ての市民は開発の過程で決して取り残されるべきではないこと等を述べました。

セント・メアリー県に位置するリッチモンド公立小学校では、生徒が交通の安全性や経済的状况に課題を抱えており、通学環境の改善が急務です。同校への新しい通学バスの供与は、児童たちが安全に通学できるようになることから、学習機会の確保と能力や才能の促進に寄与します。

今般の引渡式には、ディクソン教育・青年大臣、ダン地元選出国會議員、スミスリッチモンド公立小学校理事長、サンダーソン同校校長、教師、生徒、国家教育基金関係者、報道機関関係者などが出席しました。



本支援の意義を述べる渥美大使



挨拶をするテリアン・トーマス・ゲール
教育・青年省大臣



ドラム演奏で日本への感謝を披露したリ
ッチモンド公立小学校の生徒たち



日本の支援に感謝を述べるデロス・スミ
ス同校理事長



供与されたバスのリボンカット



関係者一同